

## ◆全国青年の集い佐賀大会

第35回「法人会全国青年の集い」佐賀大会が、令和3年11月26日、佐賀県の佐賀市文化会館大ホールで開かれた。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりとなる今大会は、青年部会長ら約550名に参加者を限定しての開催となったが、2500名を超える全国の部会員がライブ配信を視聴した。

佐藤知樹青連協会長は式典あいさ

つで、「租税教育、部会員増強と並ぶ青年部会活動の三本柱の一つとして『財政健全化のための健康経営プロジェクト』をしっかりと前に進め、企業の発展を支援し、地域振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献していただきたい」と、さらなる活動推進への協力を求めた。

式典は、川代勇一大会会長の開会の言葉で始まり、全法連・小林栄三会長が主催者を代表してあいさつ、来賓より祝辞をいただいたあと、午前に開催された「租税教育活動プレゼンテーション」で最優秀賞を受賞した開催地・佐賀県の佐賀法人会の事例発表と、「健康経営大賞プレ大会」の単位会部門と企業部門で最優



主催者を代表してあいさつする佐藤全法連青連協会長

秀賞を受賞した、磐田法人会（静岡県）とアイビック食品株式会社（北海道・札幌北法人会）の事例発表が行われた。

なお、「健康経営大賞プレ大会」は、「第1回」として開催する令和4年の沖縄大会に向けたトライアルとして開催、各地の青年部会・部会員企業から190のエントリーがあったもので、顕著な取り組みを行う青年部会5会と部会員企業5社が代表して、自らを取り巻く環境に根差した工夫やアイデアを凝らした取り組み事例をコンテスト形式で発表した。

続いて部会員増強運動の結果発表・表彰が行われた後、牧瀬正和実行委員長から「つなぐ維新のちから輝ける大切な未来へ」をスローガンに大会宣言が行われ、最後に次回開催地である沖縄の平良修一大会会長に大会旗が伝達された。

式典終了後、テレビ・雑誌等で活躍する優木まおみ氏が「身体と心・仕事と家庭バランス良く過ごすために」と題して記念講演を行った。

なお、次回の青年の集い沖縄大会は、本年11月25日に沖縄県の沖縄市体育館にて開催される予定である。